

Citation: Rydzewska L, Tierney J, Vale CL, Symonds PR. Neoadjuvant chemotherapy plus surgery versus surgery for cervical cancer. *Cochrane Database of Systematic Reviews* 2010, Issue 1. Art. No.: CD007406. DOI: 10.1002/14651858.CD007406.pub2.

CRG名: Gynaecological Cancer

[最新版\(英語版\)はこちら](#)

英語版最終改訂年月: 7 November 2009

Clib issue No.; N/U: 2010 issue 1, New

背景: 先のシステマティック・レビューで、術前のネオアジュバント化学療法施行は放射線治療と比較して生存を改善させることが示された。しかし、手術単独との比較による術前のネオアジュバント化学療法の役割は依然として明らかでない。

目的: 初期子宮頸癌または局所進行子宮頸癌の女性を対象にネオアジュバント化学療法の役割を評価する。

検索戦略: Cochrane Central Register of Controlled Trials (CENTRAL) (2009年第2号)、MEDLINE (~2009年3月)、LILACS (~2009年3月)、Physician's Data Query (PDQ) (~2009年3月)を検索した。発表済み・未発表の試験を捜し、制約を設けずに幾つもの試験情報源をシステマティックに検索した。

選択基準: 治療の比較を妨げると考えられる治療を以前に受けていなかった初期または局所進行子宮頸癌の女性を対象に、ネオアジュバント化学療法を手術と比較しているランダム化比較試験(RCT)。手術不能の腫瘍に対する根治的放射線治療および／または術後放射線治療を施行している試験も適格とした。主要アウトカムは全生存期間(OS)であった。副次的アウトカムは、無増悪生存期間(PFS)、局所再発、遠隔再発、切除率および手術罹患率であった。

データ収集と分析: 2名のレビューアが独自に試験報告からデータを抽出し、チェックした。アウトカムの種類に基づき、試験ハザード比(HR)およびオッズ比(OR)を試験報告から取得または推定するか、試験研究者に照会した。

主な結果: 6件の試験(女性1,072例)が同定され、本レビューに含めた。PFSに関するデータは6件の全ての試験(女性1,036例)で入手可能であったが、全生存期間、切除率、病理学的反応に関するデータは5件の試験(女性909例~938例)のみで入手可能であり、再発に関するデータは3件の試験(女性604例)のみで入手可能であった。ネオアジュバント化学療法によりPFSは有意に改善したが(HR=0.76、95%CI=0.62~0.94、p=0.01)、OSに対する効果は認められなかった(HR=0.85、95%CI=0.67~1.07、p=0.17)。さらに、局所再発(OR=0.76、95%CI=0.49~1.17、p=0.21)、遠隔再発(OR=0.68、95%CI=0.41~1.13、p=0.13)、切除率(OR=1.55、95%CI=0.96~2.50、p=0.07)の推定値は、ネオアジュバント化学療法に有利な傾向を示すだけで、異質性が認められた。病理学的反応に関する探索的解析から、ネオアジュバント化学療法による有害病理学的所見が有意に減少したことが示された(リンパ節の状態ではOR=0.54、95%CI=0.39~0.73、p<0.0001。子宮傍組織への浸潤ではOR=0.58、95%CI=0.41~0.82、p=0.002)。ここで示された効果は、研究の異質性が高い試験の統合によるものであったが、ランダム効果モデルを用いても依然として有意な効果として示された。シスプラチンの総用量別、化学療法のサイクル期間別、子宮頸癌の進行期別でも、ネオアジュバント化学療法の効果に差を認めなかった。

レビューアの結論: アウトカムはネオアジュバント化学療法に有利な傾向であるにもかかわらず、全生存期間を含むアウトカムでは有意ではなかった。従って、初期子宮頸癌または局所進行子宮頸癌の女性に対しては、ネオアジュバント化学療法併用が手術単独を常に上回る利益をもたらすかどうかは依然として不明である。

(監訳 江川賢一)

翻訳公開日: 10年4月15日

Copyright(c) All rights reserved by Minds, Japan Council for Quality Health Care
ご注意:この日本語訳は、臨床医、疫学研究者などによる翻訳の権利を受け公開しますが、訳語の間違いや誤りなどの
点がございましたら、Minds事務局までご連絡ください。なお、コクラン・ライブラリは年4回改定版が発行されます。Mindsでは最新版
の日本語訳を掲載するよう努めておりますが、編集作業に伴うタイム・ラグが生じている場合もあります。ご利用に際しては、最新版
(英語版)の内容をご確認ください。